

■池田慶徳 因幡国鳥取藩最後の藩主。藩の近代化を図る一方、攘夷論に共感して“因備の暴論”といわれた。

いけだよしのり

大塩平八郎乱1837= 江戸小石川(東京都文京区)の水戸家本邸で出生。父は水戸藩主徳川斉昭，母は側室の松波氏春子。

阿部正弘首座1845= 8歳：

孝明天皇・1846= 9歳：

国定忠治疎・1850=13歳：_池田慶栄が嗣子なく急逝したとき，幕命で養子として鳥取池田家を嗣ぎ，従四位上侍従・相模守となる。

万次郎帰国・1852=15歳：*はじめて入国，前藩主の藩政改革を継承，積極的な改革に着手し，人材登用，藩校尚徳館の拡張・充実，国産役所の設置などを行なった。用人田村貞彦を中心に，安達辰三郎・堀庄次郎らの改革推進者が登場，

ペリー来航・1853=16歳：<ペリー来航>後，江戸や大坂の沿岸警備に当たる。

開国開港・1854=17歳：*在方改正によって改革はさらに本格的となった。

安政大地震・1855=18歳：

佐野増蔵ら地方巧者を登用しての農政改革，国産奨励とその流通統制，反射炉の築造や砲台の建設に加えて屯田制などの軍制改革，人材登用その他の職制改革など一連の施策が安政年間を通じて行われた。一方，領内に水戸学の影響をうけた尊王攘夷論が盛んになり，他方，

桜田門外変・1860=23歳：この頃から用人田村図書を中心とする保守派が勢力を得たため，この両者の対立に苦慮した。

生麦事件・1862=25歳：勅命により朝幕間の周旋にあたるも，守旧派の補佐で積極的な行動をとれず，藩内尊攘派の失望を買う。

8月18日政変 1863=26歳：長州藩による討幕計画が進むと，弟の岡山藩主・池田茂政と公武合体の立場から反対，<八月十八日の政変>では，皇居の守備に当たったが，長州の攘夷論には共感を示して，幕府から批判される。

禁門の変・1864=27歳：*この年からの国事多端に際して，よく藩論を統一して薩長列藩の間に伍したが，異母弟将軍慶喜との関係から，維新の際は尊王と敬幕とを両立させようと努力し，大政奉還論をとらえた。

明治維新・1868=31歳：<鳥羽・伏見の戦>では勅命で伏見を守り，<戊辰戦争>には関東・奥羽に藩兵を出して平定に功があった。

戊辰戦争終・1869=32歳：鳥取藩知事となり，

廃藩置県・1871=34歳：*廃藩により辞職。家督を子輝知に譲ったが，

明治6年政変 1873=36歳：

常に宮廷に出入りし，華族会館創立にも功があった。

西南戦争・1877=40歳：肺炎に罹り_没した。

文章にも秀で，歌集「竹の舎集」，随筆「佐夜の夢」「千もとの桜」などがある。